

みえの子ども白書 2016（抜粋）

(1) 自尊意識

- 自分のことが好きな子どもの割合は増加しているが、子どもは自分のことが好きだと思う保護者の割合は減少している。

自分のことが好きな子どもの割合は、子どもは自分のことが好きだと思う保護者の割合よりも低い。

図2-1 自分のことが好きか

Q. あなたは、自分のことが好きですか。

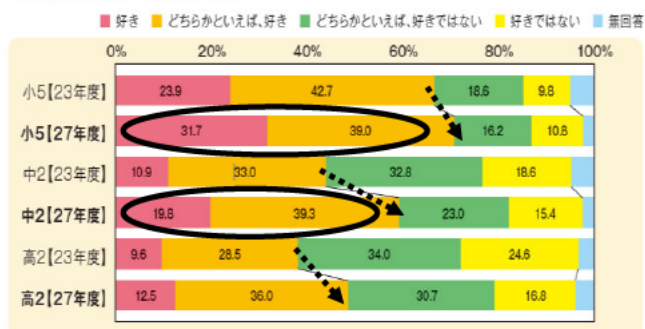
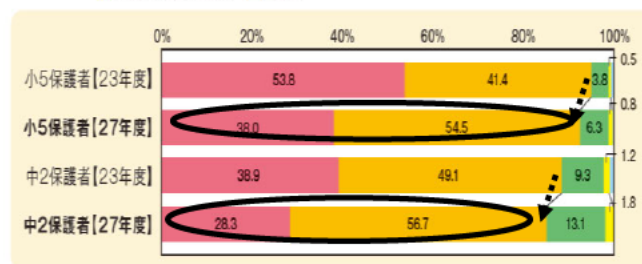


図2-2 大人から見た子どもの自分への意識

Q. あなたのお子さまは、「自分のことが好きだと思っている」と思いますか。

「好き」だと思う 「どちらかといえば、好き」だと思う 「どちらかといえば、好きではない」と思う 「好きではない」と思う 無回答



(2) 大人からの愛情

- 「大切にされている」と感じる子どもの割合は増加しているが、「子供は大切にされている」と感じる保護者の割合に大きな変化はない。

「大切にされている」と感じる子どもの割合は、「子供は大切にされている」と感じる保護者の割合よりも低い。

図3-12 「大切にされている」と感じるか

Q. あなたは、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか。

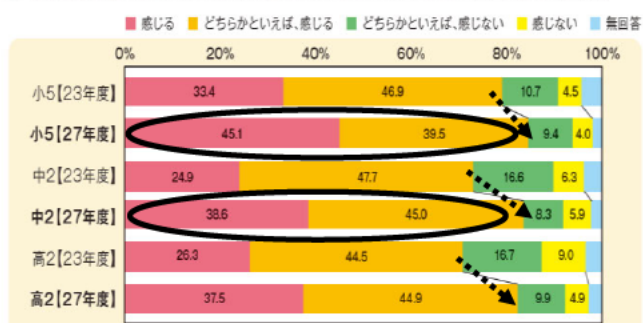
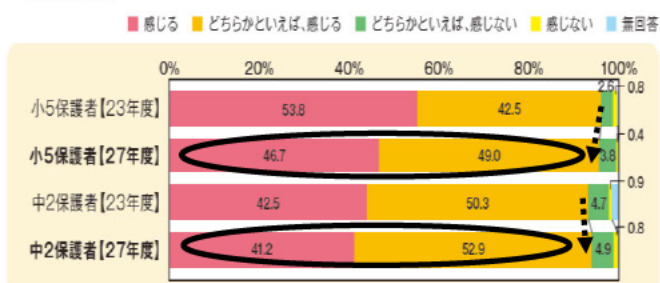


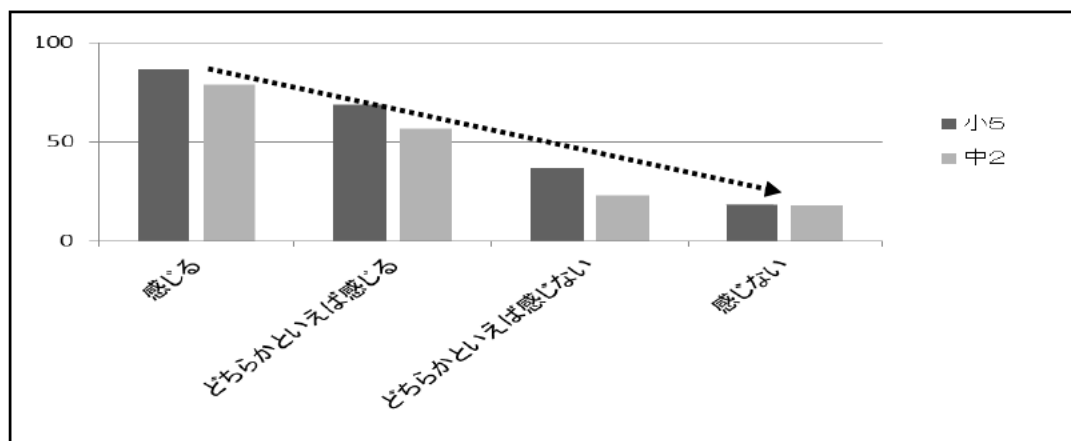
図3-13 「子どもは大切にされている」と感じるか(保護者)

Q. あなたは、あなたのお子さまが、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか。



- 大切にされていると「感じる」子どもほど、「自分のことが好き」と答える割合が高い。

※「大切にされている」（横）と「自分のことが好き」（縦）との関係



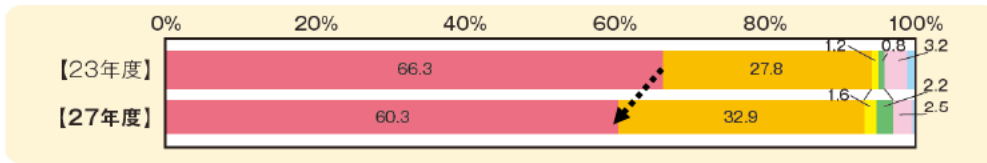
(3) 子どもの育ちへの応援

●9割以上の県民が子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思っているが、「思う」県民は減っている。

図4-1 子どもたちの育ちへの応援

Q. あなたは、子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思いますか。

■ 思う ■ どちらかといえば、思う ■ どちらかといえば、思わない ■ 思わない ■ わからない ■ 無回答



(4) 子どもの大人への関わり

●近所の大人からほめられたことがある子どもの割合は前回よりも増えているが、近所の子どもを褒めたことがある大人の割合は半数以下に減っている。

図4-9 近所の大人からほめられたこと

Q. あなたは、これまで近所の大人からほめられたことはありますか。

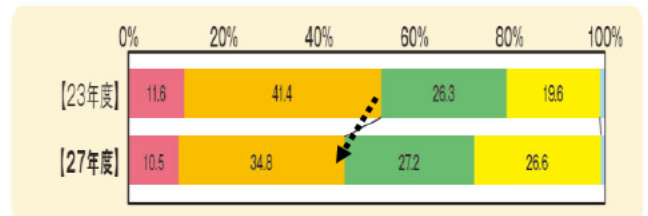
■ よくある ■ ときどきある ■ あまりない ■ ない ■ 無回答



図4-10 近所の子どもを褒めたこと

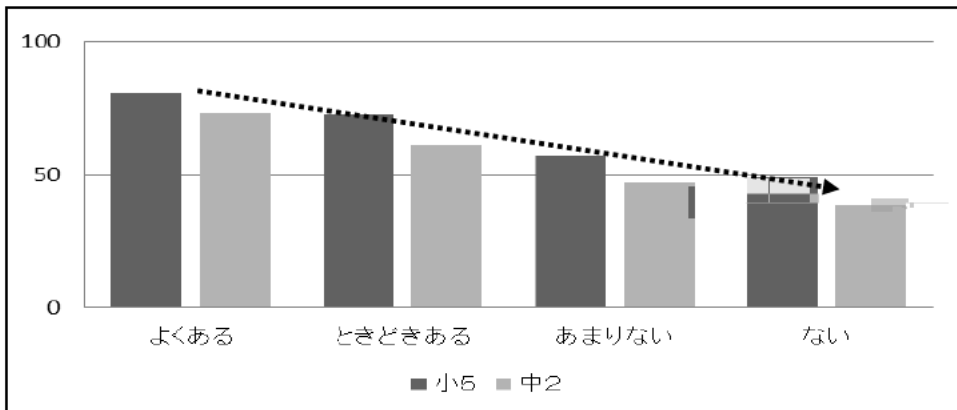
Q. あなたは、近所の子どもを褒めたことはありますか。

■ よくある ■ ときどきある ■ あまりない ■ ない ■ 無回答



●近所の大人からほめられたことがある子どもほど、「自分のことが好き」と答える割合が高い。

※「近所の大人からほめられたことがある」（横）と「自分のことが好き・どちらかといえば、好き」（縦）との関係



○調査結果から見てくること

子どもの自己肯定感と家庭や地域、学校における大人の関わりに関係がみられる

↓
子どもが自己肯定感を高め、夢や将来の希望を持って、自分らしくいきいきと育つためには、地域や家庭、学校などにおける大人の関わりが重要

(みえの子ども白書2016より)

みえの子ども白書2016：平成27年度に県が実施したアンケート調査（子ども調査、保護者調査、県民調査）の結果を中心に、子どもの生活実態や意識、周りの大人の意識や地域社会の状況などについてまとめたもの